施工説明書 INAX

シングルレバー混合水栓

洗面器用（センターセットタイプ）

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図

一般地用 LF-1350S

寒冷地用 LF-1350SN

一般地用 LF-1355S

寒冷地用 LF-1355SN

一般地用 LF-1350S-MB

寒冷地用 LF-1350SN-MB

一般地用 LF-3350S

寒冷地用 LF-3350SN

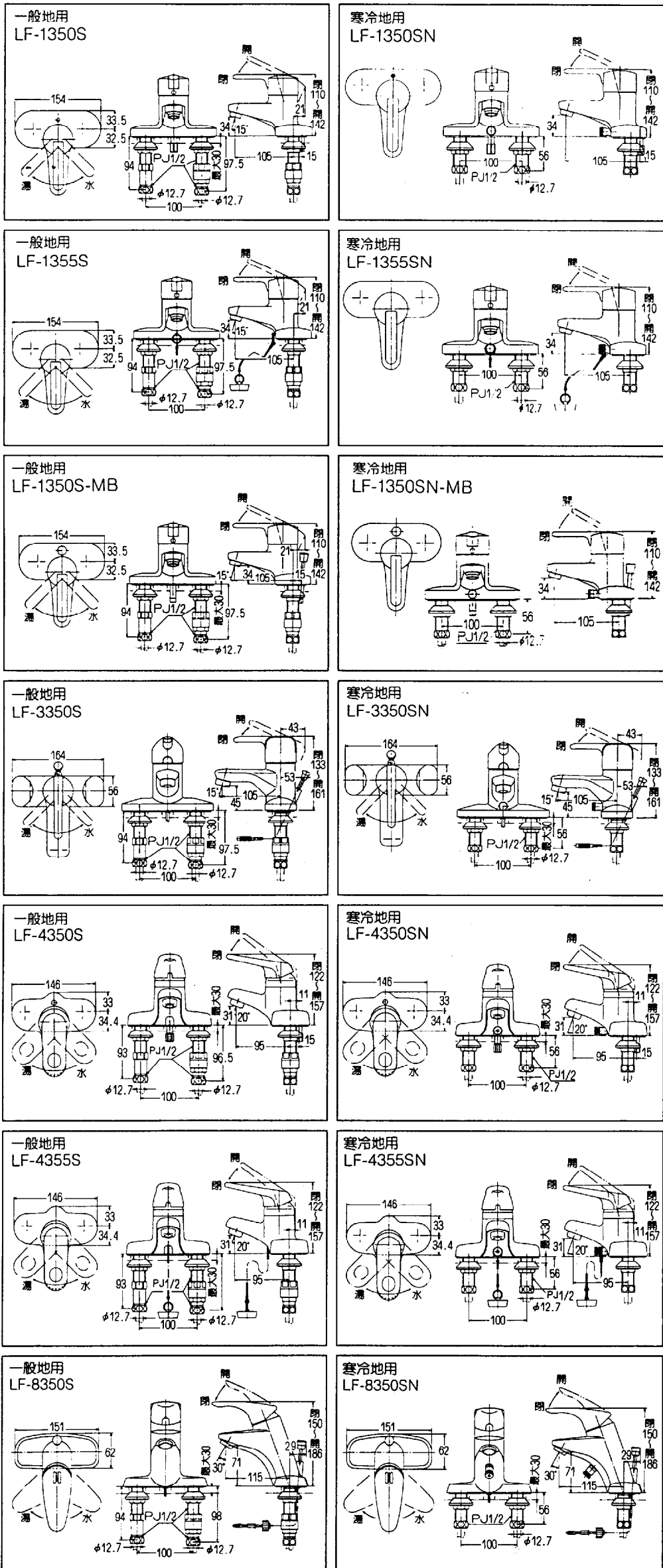
一般地用 LF-4350S

寒冷地用 LF-4350SN

一般地用 LF-4355S

寒冷地用 LF-4355SN

一般地用 LF-8350S

寒冷地用 LF-8350SN

※カウンター穴あけ寸法は、全品番φ30±2とφ20±2（ポップアップ穴）で行ってください。カウンター厚は全品番30mm以下。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕

給水圧力 {最低必要圧力……A+0.03MPa{0.3kgf/㎠}
　　　　 {最高圧力…………0.75MPa{7.6kgf/㎠}

※Aはガス給湯器の最低作動水圧です。
●測定条件
※レバーハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 {最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
　　　　　　　 {最高圧力…………0.75MPa{7.6kgf/㎠}

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
●給水圧力が0.75MPa{7.6kgf/㎠}を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20MPa{2kgf/㎠}程度)に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

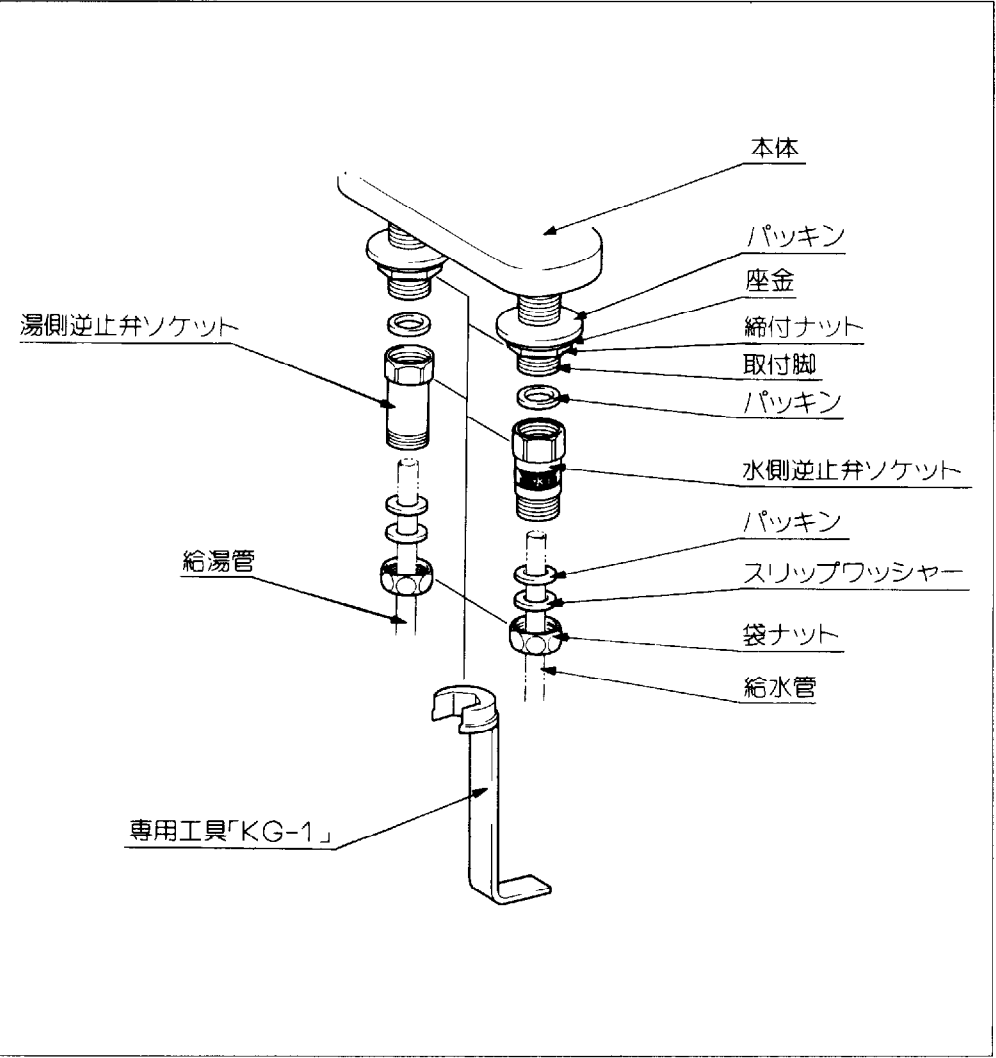
●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
　※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
　※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具（KG-1）を用意してください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
　※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
●取付可能な洗面器であることを、カタログや設計図面集でご確認ください。

株式会社INAX
本社 ☎0569-35-2700　北海道支社 ☎011-271-1713　東北支社 ☎022-301-1701　首都圏統括支社 ☎03-5541-7111
関東支社 ☎048-668-1177　甲信支社 ☎0263-36-2166　中部統括支社 ☎052-201-1717　北陸支社 ☎076-264-1710
関西統括支社 ☎06-539-3500　中国支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎087-821-1701　九州支社 ☎092-282-3154

●施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

1. 別売の専用工具（KG-1）を用い、締付ナットで、本体をしっかりと固定します。

2. 逆止弁ソケットを取付脚に接続します。
   ※逆止弁ソケットは湯水所定のソケットを取り付けてください。
   逆に取り付けると故障の原因になります。
   ※寒冷地用には逆止弁ソケットは付いていません。
3. 逆止弁ソケットへの差込しろ（約20㎜）を確保して、給水・給湯管（別売の止水栓に付属）を切断します。
4. 給水・給湯管を逆止弁ソケットにしっかりと差し込み、袋ナットを締めます。
5. 排水金具へ排水栓操作部を接続します。
   ※排水金具またはレリーズに同梱の施工説明書をご覧ください。

〔LF-1350S(N)、LF-1350S(N)-MB、LF-4350S(N)〕（ポップアップ式）の場合
排水栓操作部を水栓本体に組み込み施工します。

〔LF-3350S(N)、LF-8350S(N)〕（プッシュワンウェイ式）の場合
排水金具に水栓本体付属のレリーズを接続します。

●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa{2kgf/㎠}を超える場合は、湯と水の流量が同じになるように水側の止水栓を絞ってください。

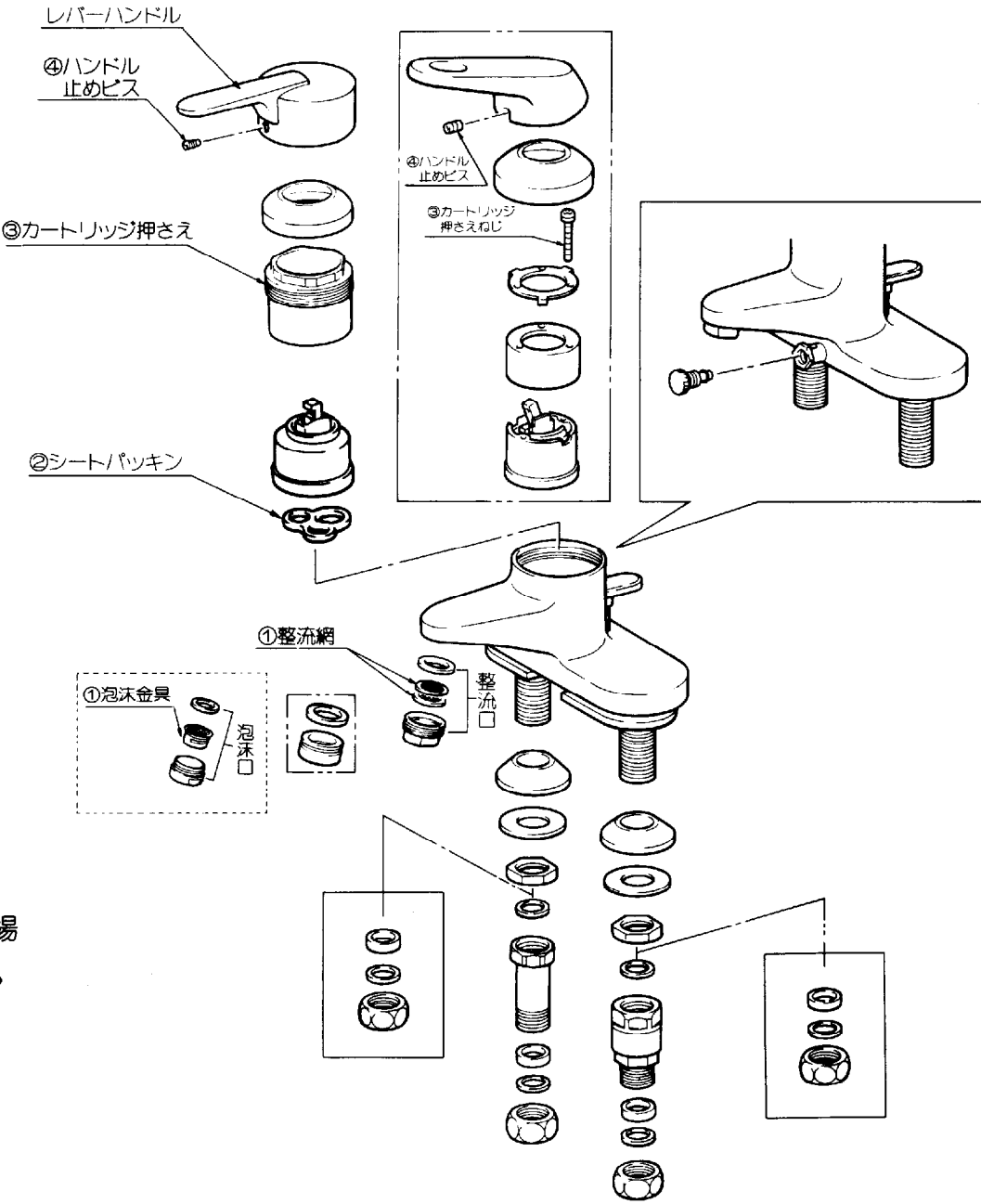
●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。
このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。
ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	止水栓は十分開いているか？	図示せず	止水栓を十分開く。
	整流網や泡沫金具にゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？		キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ押さえ（カートリッジ押さえねじ）を締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
	整流網や泡沫金具にゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ハンドル止めビスをしっかりと締める。

□内は寒冷地仕様です。
□はLF-4350S(N)、LF-4355S(N)を示します。
□はLF-8350S(N)を示します。